

2025 年度放送番組審議会

議事録

2026.01.20

NCV 米沢センターは 2025 年 11 月 27 日に放送番組審議会を開催しました。

■委員

- ・後藤 利明 委員（米沢市社会福祉協議会 事務局長）
- ・伊藤 竜信 委員（西蓮寺 住職）
- ・行方 正男 委員（羊肉の行方 会長）
- ・木村 真衣 委員（小野川温泉 明湯の宿「吾妻荘」若女将）
- ・松原 由侑 委員（高畠町地域おこし協力隊）
- ・淀野 海翔 委員（川西町社会福祉協議会）

- ・【欠席】加藤 敦之 委員（南陽青年会議所 2025 理事長）

■審議番組

「9 c h タイムカプセル」(30 分番組)

■番組概要

「9 c h タイムカプセル」は、NCV で過去に放送した番組を振り返り、その中で紹介した人や事柄を追跡取材して「今」を伝える番組です。今回は今から 30 年前に放送した番組「おじゃまします」に登場していた「米沢民謡一家」を再び訪問し、30 年後の「米沢民謡一家」を取材しました。当時 0 歳だった三代目が一家を率いる姿や、家族で代々受け継ぐ日本芸能の素晴らしさをお伝えします。

■番組へのご意見

- ・NCV の強みと歴史を活かした番組で、懐かしく楽しく見る事ができた。
- ・30 年という年月を感じた。過去の映像をしっかりと残してきた事に驚いた。
- ・リポーターまで当時の人が登場して驚いた。NCV にしかできない番組づくり。
- ・今の時代は丁寧に作りこまれた映像が主流だが、30 年前の映像は、その時の雰囲気がそのまま伝わってきて、アットホームで自由な感じが逆に心地よかった。

- ・一人の人の人生を追いかけて映像にした貴重な番組だと思った。
- ・他の番組でも昔の番組を見るが、まさか30年後の今の映像がでてくると思わず、物語性を感じた。
- ・今の若者は30年前の映像を逆に新しく感じると思う。地域密着で地元愛を育てる今の時代にあったコンテンツだと思った。

【提案】

- ・冒頭の30年前の番組は、今の若者にとってはテンポが遅く、あきてしまう。最後まで興味を持ってもらう為に、もう少し早めに30年後に場面転換するなど工夫してはどうか。
- ・昔の映像は宝。観光地や街並みの昔と今を比較するなど、別の切り口の番組も面白いのではないか。

以上